

02

30代で、 大人になる人と、 オジサン・オバサンになる人にわかれる。

30代の位置づけは、今の世の中ではなかなかむずかしいのです。

20代からは「オジサン・オバサン」と言われます。

上の年齢層の人には「まだまだ子ども」と言われます。

下からは「老けている」と言われ、上からは「子ども」と言われる、一番立つ瀬のない人たちです。

30代の10年は長いように感じますが、ボンヤリしていると、あっという間に過ぎています。

何もしなくても不具合が発生しないからです。

30代は「失われた10年」になるリスクが高いのです。

30代の10年間は、失ったことにすら気づきません。

10年経って4代になった時に、初めて「自分は何もしなかった」と気づくのです。

20代で何もしなければ、クビになります。

30代は、何もしなくてもクビになりません。

給料も、きちんと出ます。

歳だけ重ねていって、誰からも非難されないので。

そこに怖さがあります。

30代で目指すのは、「大人」になることです。

30代は、もはや子どもの時代ではありません。

大人になるか、オジサン・オバサンになるかのターニングポイントが30代です。社会的な大人の入門の一番手前にいるのが30代です。